

高校1年 学年通信 No.11

2019年1月8日

初春の候、新春のお喜びを申し上げます。本年も変わらぬご支援ご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日より三学期が始まります。三学期は学年のまとめの学期です。生徒のみなさんは、4月当初に自分の思い描いた高校1年生になれているでしょうか？是非しっかりと自分自身を見つめてもらいたいと思います。そのなかで、今学期に生徒のみなさんに意識してもらいたい目標は、

「自分の将来(目指したい道)を明確にする努力をする」

ここでいう将来の目標(目指したい道)とは、“①職業”“②大学・学部”を指しています。現状としては、世の中の職業の種類についてはもちろん、大学のこと、学部のことについても知らないことの方が多い状態です。まずは、職業や大学・学部について、

自分が知らない状態であること自覚すること

から始まります。『厚生労働省編職業分類』の索引には、日本国内で約28000種類の職業が記載されています。全ての職業を網羅して選択できるわけではありませんが、選択肢が多いことに越したことはありません。本格的に将来を考えるのは、大学生になり就職活動時に行う業界研究で、社会のことや職業の種類などを調べる時なのかもしれません。しかし、理系は特に学部学科選択が将来の職業に直結することが多くあります。自分の興味関心や適性などから、目指したい職業を考え始める時期にきているのは間違いありません。文系の生徒も含めて、二年生になるまでには将来に向けての目標設定を明確にする努力をしてもらいたいと願っています。すでに目標が明確になっている人も、知っている職業がわずかだという前提に立つと、他の選択肢を吟味することも必要なのかもしれません。そのうえで、今の目標に帰ってくるようならその目標をより自信をもって目指すことにつながるでしょう。

ドイツの哲学者ニーチェは、

過去が現在に影響を与えるように、未来も現在に影響を与える。

という言葉を残しています。未来を明確に意識することは、きっとこれからの取り組みにプラスに働くことでしょう。さらに、その取り組み方法を示すものとして、

いつか空の飛び方を知りたいと思っている者は、まず立ちあがり、歩き、走り、登り、踊ることを学ばなければならない。その過程を飛ばして、飛ぶことはできないのだ。

とも言っています。目標達成のためには、その方法を学ぶことが必要です。その方法を地道に進めていくしか方法はありません。



～ニーチェ～

三学期の日々が、それぞれの目標につながる一歩になることを期待します。

“学習の「質」をどう高めるか”について

『学習観をどう変えていくのか。認知心理学の学習理論によれば、学習観を変えていくためには、まず学習方略を変え、学習から得られる成果を変えていくことが重要だとされている。なぜなら、直接「こういう考え方を持つべきだ」と指導したところで、**自分自身にその実感がなければ学習観など変わらない**からだ。方略を変え、得られる成果や効果実感を変えていくことが、学習観の変容やその学習を持続させる意欲につながるのである。

しかし、学習方略から変えていくこと自体も容易ではない。実際、世間に数多くの「効果的な学習法」に関連する書籍が存在しているにもかかわらず、それらが定着し、多くの子どもに広がっているわけではない。その原因を探るために過去のヒアリング結果を整理したところ、1つの共通する課題が見えてきた。それは「**効果的な学習法**」の**理解が子どもによって異なる**ということである。例えば、「見直し」という1つの行為をみても「とにかく〇×だけをつけようとする子」「とにかく答えを丸写ししようとする子」と「〇×をして間違ったところの理由を考えようとする子」「間違った理由と併せて、どうすれば間違えないようになるかまで考えようとする子」では、「見直し」の質に大きな違いがある。指導する側は、単に「見直し」を促すだけでなく、どのように「見直し」をすればよいか、その「質」の部分も含めて指導する必要がある。』

ベネッセ教育総合研究所 初等中等教育研究室
2014年3月7日 掲載資料より



生徒の学び方に応じた声掛け事例

ケースA：真面目だが伸び悩んでいる。「勉強したくないがしかたなく勉強している」「勉強するが成績が伸びない」「得意教科がない」と本人も悩んでいる。

- ・将来像を描かせる
- ・考える癖を付けさせる
- ・質問へ行くように促す
- ・脱受け身へのきっかけづくり

ケースB：もともとコミュニケーション能力は高く、クラスの中でも中心人物。でも、学習には向かっていない。宿題も写して出すことが多い。

- ・スキマ時間を活用させる
- ・学習を自分事化させる
- ・客観的な指標を示す
- ・定期的に状況を把握する

ケースC：宿題は出したり出さなかったりとムラがある。知的好奇心は高くわからないところやテスト前には質問しに来ることもある。特に興味がわいた時の集中力はすごい。しかし、基本事項のヌケモレが多く、これから先の成績は不安。

- ・興味の幅、視野を広げる
- ・振り返りをさせる
- ・学習姿勢を養う
- ・入試に目を向けさせる

ベネッセ 進学実績向上研究会資料より

各ご家庭での話し合いの参考になればと思い、共有しておきます。

三学期の主な予定

- 1月 9日(水) スタディサプリ到達度テスト(英数国) 午後:HR
11日(金) 人権講演会 川口泰司さん
17日(木) 進研記述模試
19日(土) 自宅学習日(中学入試)
~22日(火)
21日(月) 企業見学(上野製薬) *希望者
25日(金) 英語検定一次 *希望者
26日(土) 先輩を囲む会
2月 6日(水) 全統記述模試
8日(金) ニュース時事能力検定 *希望者
16日(土) 数学検定 *希望者
22日(金) 後期考査
28日(木) 高校卒業式
3月 4日(月) 学年末考査
~8日(金)
13日(水) 神戸大学オープンキャンパス(文系学部) *希望者
14日(木) 登校日
15日(金) 特別文化講演会 おおむら さとし 大村 智 先生(2015年ノーベル生理学・医学賞受賞)
20日(水) 終業式